



広報あやせ

主な記事

- ②国民年金保険料
口座振替と前納制度
- ③健康だより
- ④⑤綾瀬の教育特集▶



地場農産物の魅力に触れてみませんか

地域で生産された農産物を地域で消費する「地産地消」には、地場の新鮮な農産物を安心して味わえるだけでなく、地域の振興や食文化の継承などの重要な役割があります。市地場農産物消費拡大推進協議会(大塚幸男会長)では「綾瀬産の農産物をもっと地域に広めよう」と、いちご・施設野菜見学会と味噌づくり教室を開催します。この機会に、地場農産物の魅力に触れてみてはいかがでしょうか。



イチゴを販売している直売所

名称・所在地・電話	その他
大塚いちご園 蓼川1-9-1 ☎080・5030・4823	販売：12月上旬～6月 摘み取り：1月下旬～5月上旬の土・日曜日・祝日、9時～15時(要予約) ※イチゴの生育状況で販売・摘み取りができない場合があります。要電話確認



施設野菜農家 峯尾晃さん (上土棚南・61歳)



昭和40年ごろ、父の代から施設野菜を手掛け、今は、トマトとキュウリ、メロンなどを栽培しています。安全で安心して食べてもらい、お客さんに喜ばれる野菜を提供するため、丹精込めて育てています。綾瀬の野菜は、品評会でも入賞の常連になるほど、質がよく、味も格別です。まずは、地域の皆さんに味わってもらい、多くの方に知ってもらいたいですね。



大塚いちご園 大塚洋二さん (蓼川・43歳)



14年ほど前からイチゴ園を営んでいます。住宅地の中での立地が、地域の方たちに親しまれ、支えてもらっています。イチゴ狩りでは、イチゴの甘さ、おいしさなどの味だけでなく、香りを楽しんだり、イチゴがなる様子を学んだりすることもできます。綾瀬のイチゴを楽しんでみてください。



地場野菜を販売している直売所

名称	所在地・電話	その他
愛菜市	早川677 (農協集出荷場) ☎79・0003	毎週日曜日11時から 売切れ次第終了
グリーンセンター綾瀬	深谷中3-4-5 (JAさがみ綾瀬営農センター敷地内) ☎79・0003	毎月第3水曜日・12月31日～1月3日定休 9時～17時
フレッシュマーケット	早川677 (農協集出荷場) ☎79・0001	毎週水曜日11時～14時
旬菜 みりのりファーム ～収穫体験型農園～	大上9-9-9 ☎090・4437・3891	毎週火・木・土曜日 10時～15時

※愛菜市は3月から、フレッシュマーケットは4月から、開始時間が10時になります

綾瀬の味噌づくり教室



綾瀬産の食材を使ってみその作り方や料理方法を学ぶ「味噌づくり教室」の参加者を募集します。

▶日時 2月24日(火)10時～13時▶場所 保健医療センター▶講師 ふるさとの生活技術指導士の栗原モトさん▶対象 市内在住・在勤の方▶定員 18人(抽選)▶費 100円▶围 2月13日までに同協議会事務局(農業振興課内)☎70・5622



自分の味を楽しんで

栗原モトさん (小園・87歳)

子どものころから畑で採れたもので生活し、みそやしょうゆ、うどんなどは、家で作ることが当たり前でした。「買ってしまえば楽なのに」と言われることもありましたが、今でもその生活を変えずに暮らしています。子どものころ、綾瀬で作られていたものといえば、サツマイモや小麦、大麦、陸稲、サトイモ、ナタネといったところでしょうか。どちらかといえば恵まれた土地でできるものではなかったかもしれませんが、それでも、素朴なおいしさとなんともいえない懐かしさがこみ上げます。

どんな食材でも手に入るようになった今だからこそ、昔ながらの食材や料理に魅力を感じます。皆さんもぜひ、今の綾瀬の新鮮な食材で、自分の味を楽しんでみてください。

4市の高度技術が結集

県央ものづくり交流会



2月19日(木)10時～17時30分、オークラフロンティアホテル海老名(海老名市中央)で、綾瀬・大和・海老名・座間の県央4市の企業連携と受発注拡大を目的に「県央ものづくり交流会」を開催します。4市のものづくり企業40社が出展し、技術や自社製品のPRを行います。さがみロボット特区や大学の取り組みの紹介、各種相談ブースのほか、千葉工業大学未来ロボットの技術センター室長の先川原正浩さんによる講演「次世代ロボットと共生する未来」もありません。

「さがみロボット特区」もありません。近隣地域での取り組みの紹介、希望する企業の方にもぜひご来場ください。会場は、70・5661。

綾瀬のいちご・施設野菜見学会



市内の施設を見学し、収穫体験を行う「いちご・施設野菜農家見学会」の参加者を募集します。

▶日時 2月21日(土)9時～11時▶場所 市内のイチゴ・施設野菜農家(市役所集合・解散)▶対象 市内在住の小学4～6年生▶定員 20人(抽選)▶費 200円▶围 2月13日までに同協議会事務局(農業振興課内)☎70・5622



会場案内図

